

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 25 年度第 6 回（2 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 26 年 2 月 13 日（木） 午後 7 時 00 分～8 時 20 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、出野、山田、宮野、酒井、山西、増田、杉山、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 井戸田、栗本、久保田、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（1 月分）

- 1 月 5 日 大阪府医師会 新春互礼会
運天、吉本
- 5 日 大阪府鍼灸師会 新年互礼会
運天
- 6 日 大阪府・大阪市 新年互礼会
運天
- 9 日 理事会
運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、井戸田、山田、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事
- 10 日 病院関連五団体 新年互礼会
運天
- 10 日 大阪府看護協会 新年互礼会
運天
- 10 日 大阪府理学療法士会 新年互礼会
田畑
- 11 日 大阪府薬剤師会 新年互礼会
運天
- 11 日 大阪府放射線技師会 新年互礼会
竹浦
- 12 日 大阪府鍼灸マッサージ師会 新年互礼会
運天
- 12 日 大阪府歯科技工士会 新年互礼会
運天
- 12 日 大阪府柔道整復師会 新年互礼会
竹浦
- 15 日 総務・会計部会
吉本、荒木、栗本、山田、久保田
- 16 日 情報組織部会

- 竹浦、井戸田、酒井、山西、杉山
- 16日 地区事業部会
竹浦、田畑、出野、後藤、栗本
- 18日 平成25年度大放技・大臨技合同フォーラム
運天、竹浦、吉本、荒木、清水、山田、宮野、酒井、杉山、後藤
- 21日 渉外部会
吉本、清水
- 21日 大阪医療技術学園専門学校 教育課程編成委員会
田畑
- 22日 常務理事会
運天、竹浦、吉本、高田、高田、田畑
- 22日 近畿支部学会準備委員会
運天、竹浦、吉本、高田、高田、田畑、清水、酒井
- 24日 日臨技連盟執行委員会
運天、竹浦
- 24日 日臨技情勢報告会
運天、竹浦、清水
- 24日 日臨技賀詞交換会
運天、竹浦、清水
- 25日 日臨技全国幹事連絡会
運天、竹浦
- 25日 北支部地域オープンセミナー
田畑、出野、久保田
- 25日 NST・褥瘡部会講演会
竹浦、杉山
- 28日 大阪府法務課公益法人書類説明会
運天、荒木
- 28日 学術部会
竹浦、高田、宮野、山西

II. 経過報告

1. 日臨技

〈日臨技関係〉

- 1) 第4次マスタープランにおいて学術組織設置要綱を作成し、学術9部門と生理検査3分野を設置した。
学術部門＝生物化学分析、臨床一般、臨床血液、臨床微生物、輸血細胞治療、病理細胞、染色体・遺伝子、臨床生理部門
生理部門＝神経生理分野、循環生理分野、超音波分野
- 2) 結核研究奨励賞選考委員に運天理事を推薦した。

- 3) 中医協関係資料調査分析員として小太刀 充 元理事を採用した。
- 4) 臨床検査技師の微生物学的検査等における検体採取を業務として追加へ。
- 5) 事務職員を追加増員する。業務部長1名、政策調整係員2名、業務係員1名、有期契約職員2名。

〈近畿支部幹事会〉2月1日（土）に開催した。

- 1) 近畿支部は検査説明・相談が出来る検査技師育成研修の参加費と助成金の見直し、ガイドライン・認定制度の導入を要望することで一致した。
- 2) 近畿支部から支部長として中町祐司氏（兵庫）が幹事より互選された。また、日臨技理事として運天政五郎氏（大阪）と小澤優氏（京都）が推薦された。

〈近畿支部学会準備委員会〉1月22日（水）に第9回委員会を開催した。

討議内容については、「報告事項 8」参照。

2. 事務局

〈総務部〉1月15日（水）に部会を開催した。

- ・大臨技行事ブッキング対応策（スケジューラー）について検討した。
- ・教育施設への大臨技登録学生募集依頼について検討した。
- ・大臨技登録学生カードについて検討した。
- ・賛助会員への対応について検討した。
- ・平成26年度大臨技会員証について検討した。
- ・研修会等における参加費の表記について検討した。
- ・大臨技ニュース1月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉1月15日（水）に部会を開催した。

- ・12月度収支計算書を作成した。
- ・1月分事務員給与を送金した。

〈渉外部〉1月21日（火）に部会を開催した。

- ・平成25年度大放技・大臨技合同フォーラムについて報告を行った。
日時：1月18日（土）14：00～16：45
場所：大阪府医師協同組合 新本部ビル8階 大ホール
参加者：102名（大臨技会員57名、大放技会員39名、一般府民6名）
- ・がん検診フォーラム（平成26年3月15日(土)開催）について進捗状況を報告した。
- ・献血推進活動（2月15日(土)10：00～16：30）について検討した。
- ・来年度の事業および予算について検討した。

3. 事業局

〈情報組織部〉1月16日（木）に部会を開催した。

- ・第30回技師長会（平成26年2月22日(土)開催）の内容詳細について検討した。
- ・平成26年度事業の内容と日程を検討した。

〈地区事業部〉1月16日（木）に部会を開催した。

- ・施設連絡者会について討議した。
日時：平成26年3月29日（土）14：30～17：00
場所：大阪産業創造館6階 会議室A・B
内容：1.保険点数改訂について（アルフレッサ株式会社 四野宮 敬彦 氏）

2.検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画に関する件（大臨技 田畑常務理事）

・支部長会について検討した。

支部長会を改め地区責任者会とする。次回は3月6日(木)開催予定。

〈学術部〉1月28日（火）に部会を開催した。

・第9回学術部講演会の内容について検討し、司会者を決めた。

・来年度の予算について検討した。

III. 報告事項

1. 日臨技理事会報告について（運天会長）

上記「日臨技経過報告」に加え、下記の追加報告があった。

・「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成研修会」の開催における助成金の額について見直しをしている。また、参加費についても、1万円では高いとの意見があるため、見直すよう要望した。

2. 臨床検査技師による検体採取について（運天会長）

・臨床検査技師による検体採取について、下記項目が今通常国会において上程され法制化される見込みである。

①インフルエンザ検査等における鼻腔内粘膜、口腔内粘膜などの表皮組織の採取

②細菌真菌検査等における膿・表皮・粘膜表面等の直接採取

③糞便検査におけるスワブを用いた肛門部からの便の直接採取

3. 平成25年度会長賞について（運天会長）

下記3校の卒業式において、平成25年度会長賞の授与を行う。

・日本医療学院専門学校（対象者1名）

・大阪行岡医療専門学校長柄校（対象者2名）

・大阪医療技術学園専門学校（対象者1名）

4. 平成26年度大臨技会員証について（吉本副会長）

平成26年度大臨技会員証から下記内容について変更することとした。

・会員証から近臨技マークを削除する。

・会員証についての説明文から、近畿一円の各府県技師会が行う研修会等への参加時に提示が必要である旨の記載を削除する。

・封書からハガキ形式での送付とする。

・基本色を日臨技冊子「医学検査」の平成26年度色であるピンク色とした。

5. 内閣府からの通知（女性の参画拡大）について（吉本副会長）

・内閣府より、女性役員を増やすようにとの要請が来た。

目標は2020年30%を目指す。当会においては現状の3名を6名に増やすことを目標とする。

6. 平成26・27年度日臨技会長候補者の立候補及び選挙期日等について（吉本副会長）

・現会長の宮島喜文氏が当選し、来期も続行することとなった。

7. 日臨技関連役員等について（運天会長）

・近畿支部幹事会より日臨技理事として下記3名を推薦した。

運天 政五郎（大阪）、小澤 優（京都）、中町 裕司（兵庫）

- ・清水理事が引き続き近畿支部幹事となった。
 - ・支部幹事会に各都道府県の会長がオブザーバーとして出席可能となったため、大臨技から竹浦副会長が近畿支部幹事会にオブザーバーとして出席することになった。
8. 第9回「平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会」準備委員会について（清水理事）
- 1月22日(水)に第9回準備委員会を開催し、以下について討議した。
- 1) 3団体協議会の進捗状況について
 - ・2月1日の幹事会で協議会開催の提案をし、3月よりスタートさせる。
 - ・当会として学会テーマ、特別企画等の案をまとめ協議会で提案できるよう進めていく。
 - 2) 学会特別企画について
 - ・テーマが決定次第、学術部で検討して行くこととする。
 - ・府民公開講座を取り入れる方向で検討する。
 - メリットとして府民に対して広く広報できる。
 - デメリットとして、会場の導線など整理が必要となる（ブースを限定する必要がある）。
 - 3) 学会テーマについて
 - ・学会テーマおよびテーマ考案理由を役員から所定書式に記入し提出してもらう。
 - 4) 他支部学会の決算について
 - ・前々回の支部学会の収支報告書より各支部の収支状況報告が行われた。
 - ・事業収入の日臨技運営費は会員数×500円で計算される。
 - 5) その他
 - ・3月中に当会の役割分担を決定し、4月より実行委員会を発足して具体的に内容を決定して行くこととする。
 - ・今月中に学会運営サービス会社から見積りを取るとともに内容確認のために面談を行う。
9. その他
- 1) 平成25年度日臨技全国幹事連絡会議における質疑応答内容をまとめた書類を役員に配布した。（清水理事）
 - 2) 第9回南大阪睡眠呼吸障害研究会（3月29日開催）からの後援申請を承認した。（吉本副会長）
 - 3) 平成26年度「小島三郎記念技術賞」及び「福見秀雄賞」について、当会からの候補者推薦は無かった。（吉本副会長）
 - 4) 診療報酬改定情報（運天会長）
 - 平成26年度診療報酬改定における主なプラス改定として下記項目が報告された。
 - ・時間外検体検査実施料加算が110点から200点に上がる。
 - ・採血料が16点から20点に上がる。

IV. 議 題

1. 平成26年度予算案について（荒木常務理事）
 - 平成26年度収支予算案について、荒木常務理事より資料を基に報告があり、承認された。
2. 平成26年度事業計画案について（運天会長・竹浦副会長・吉本副会長）
 - 平成26年度事業計画案について、運天会長、吉本副会長、竹浦副会長より資料を基にそれぞれ、総括、事務局、事業局についての報告があり、承認された。

3. 平成27年度日臨技近畿支部医学検査学会テーマについて（清水理事）
標記学会テーマについて役員より幾つかの案が提出された。選考については、電子メールにより以後の追加案も併せた中から役員それぞれに候補を3つ選んでもらい、来月の理事会で最終決定することとした。
4. 研修会等における参加費について（山田理事）
来年度からの大臨技事業における研修会等の参加費について検討した。
- 1) 変更点
- ①他職種公開講座における非会員の別途資料代の記載を廃止し、会員・非会員の区別をする。
 - ②近臨技提携廃止に伴い大臨技会員以外は非会員として扱う。
近畿臨床検査技師会が平成26年3月31日をもって解散し、近畿7府県技師会は日臨技近畿支部として一本化されることに伴い、平成26年4月以降は各府県技師会単独で開催される研修会等の参加費は各府県独自に決めることとなるため。
- 2) 新規取り決め
- ①大臨技登録学生(OEMS)は、参加費無料とする。
 - ②大臨技登録学生が大臨技正会員となった場合、1年間は参加費無料とする。但し、参加費1,000円以上の研修会については通常扱いとする。
 - ③日臨技助成金申請事業については、日臨技会員も会員扱いとなるため広報掲載時追記する。
但し、当事業の申請は3ヶ月前に必要であるため、ニュース掲載時は申請予定または申請中となり、確定ではない場合もある。
5. 平成26年度「看護の日」記念事業への協力について（運天会長）
- ・3月4日（火）に開催される看護の日実行委員会に杉山理事が出席する。
 - ・平成26年度「看護の日」記念事業への協力金として、例年どおり50,000円負担することとした。
6. 平成25年度臨時総会の開催について（運天会長）
大阪府法務課への平成26年度事業計画ならびに予算案の提出にあたり、現定款上、今年度中の総会で承認が必要であるため、3月27日（木）に臨時総会開催の提案が、2月19日に運天会長から電子メールにより全役員に対しあった。
当件について電子メール審議の結果、2月24日に全役員の承認を得たため、当総会の開催が決定した。

以上